



## 働くための土台

### ～安全、挨拶、報告・連絡・相談の大切さ～

本校は、高等特別支援学校として、生徒達が数多くの実習を経験し、企業からの評価をいただき、社会人になる時の選択肢をもち、自分の進路を自分で決めていけるような学校作りを目指して取り組んでいます。ただ、それは生徒1人1人の頑張りや意識の高さがあって、初めて実現できることです。

3年生の第1期現場実習が終わり、各実習先の人事担当者と振り返りをしておりますが、そこで「挨拶ができない」「忘れ物をしたのに報告ができない」「迷っても相談しないから、不良品につながる」という話がいくつも出てきました。そして、最後に言われることは「(そのような生徒達は)最終的には安全面が不安、信頼していいか不安」ということです。

「安全面や衛生面」「挨拶や返事」「報連相」これらの理解と行動は、働くための土台です。難しいことを覚えたり、技術を習得することは、その次です。もう一度、原点に戻り、3年生の生徒1人1人が努力を重ねないと、自分が目指す企業への就職が遠くになってしまうのではないかという危機感をもっています。

逆に考えますと「安全面や衛生面」「挨拶や返事」「報連相」がしっかりできる人は、社会で必要とされ、安定した仕事を長くできるということにつながります。これまでの卒業生もそうですが、「あの生徒は挨拶が素晴らしい」「会社の中でも1番の挨拶をする」という話を企業の方からたくさんいただきます。はきはきと元気よく挨拶をすることが入社を実現するための第一歩のよう



な気がします。

3年生にとっては、ここから数か月が非常に重要な時期です。もう1度、1年生の初めの頃を思い出し、働くための土台をしっかり整えていきましょう。

〈現場実習の様子〉 ※記事の内容と写真は関係ありません



〈3年生：進路に関する今後の予定〉

特別現場実習：7月7日（月）～11日（金）※必要な生徒のみ

職業相談：7月28日（月）or 30日（水）

企業への応募：9月5日（金）～ ※求人票が届いた生徒から

入社試験：9月16日（火）～